

# Special Interview

## AYASE GOTO

青山学院大学文学部英米文学科合格



ここで学んだことを土台として大学ではビジネス教養を学び、世界に通じるビジネスパーソンになっていきたい。

写真・構成・文＝阿久津伊吹

青山学院大学文学部英米文学科合格おめでとうございます。どういっかけてKEEPに入塾されたんですか。

ありがとうございます！わたしは高校3年生の夏頃にSTEPに入塾しました。高校3年目がスタートし、大学受験に向けて何か対策をしなければいけなかったのですが、行きたい大学が特に決まっていたわけではなく、周りの友達が受験のことを話すようになってきたので自分も意識し始めました。ちょうど焦り始めていたときにクラスの友達が「阿久津先生に進路相談してみたら？」と言ってくれ、進路相談をしてもらいました。親身になって大学の進路について一緒に考えてくださったので、受験のことはすべてお任せしたいと思い、入塾することを決意しました。

KEEPではどのような授業をどうしていましたか。

KEEPでは英語と小論文の授業をとっていました。カナダへの留学経験があるので英語は割と得意な方だったので、受験英語となるとまた別で、もっと学ぶ必要がありました。英語の授業では長文の読み方や英作文の書き方を重点的に学びました。

また小論文の授業では文章の構成法だけでなく、時間内に自分の意見をまとめる訓練も繰り返していました。また授業のなかで先生から世界情勢の話もたくさん聞き、さまざまなトピックに関する知識が深まり、与えられたテーマに関して自分の意見を書けるようになりました。授業でしっかりと対策をしていたので青山学院大学の入試でも自分の力が発揮できました。

先程カナダに留学されていたと言っていました。カナダ留学について少し聞かせてください。

高校2年生のときにカナダで1年間留学しました。最初は親元から離れることもあり不安でした。特に最初の3ヶ月は相手が話していることは理解できるけど、自分の気持ちを英語でうまく伝えることができず、自分の部屋に引きこもることもありました。

全く新しい環境、しかも言葉があまり通じない環境で生活するのが大変ですね。何かその状況を打開する転機はあったんですか？

自分でもこの状況をなんとかしなきゃいけないと思っていました。ちょうどその時に、ホストファミリーがキャンプに行っ

てみないかと勧められました。そのキャンプは2ヶ月間のキャンプで、もちろん日本人もいなかったのですが、最初は友達もできず辛かったのですが、次第に自分から話かけにいって友達をつくるようになりました。友達と話しているのを真似して、自分でもその表現を使って話してみたりしました。キャンプから帰ってきてからでも友達ができるようになり、それとともに英語力も上がっていったと思います。

将来はどんなことをしていきたいですか？

大学卒業後は総合商社で働き、経験を積んだ後に将来的には起業したいと考えています。グローバル化が進むなかで英語力はビジネスパーソンにとって必須要素になっています。KEEPで培った英語力を土台として、大学ではコミュニケーション能力をさらに高めていくだけでなく、ビジネス教養なども身につけていきたいなと思っています。

起業したいと思ったのは誰かの影響ですか？

父の影響です。父が会社を経営している姿を小さい頃から見て、私もいつか会社を経営してみたいと思うようになりました。高校1年生のときから、将

来的に起業したいなど漠然と思っていました。この受験勉強をしていくなかでその思いがさらに明確に、また確信的なものに変わりました。会社に入らずとそこで働くよりは、起業して自分のやりたいことを表現していく方が自分には合っているんです。

最後に受験生へのメッセージがあればお願いします。

入塾当初は大学受験に関して全く知識がなかったのですが、STEPではわたしの合った進路指導と受験指導をしてください、入塾していなければ、自分の行きたい大学も正確に決まらずに自分の将来も漠然としていたと思います。なので、もし今大学進路に悩んでいる人がいるのであれば、一人で悩むのではなく、受験のプロに相談することをオススメします。自分のこと以上に親身になってくれる先生方がサポートしてくれまます。何よりも指導してもらうことで精神的にも成長することができまますよ！



クラスメイトと一緒に真剣に授業を聞いている後藤さん。